OKI WORLD 2026

OKI

情報通信（ネットワーク）

# つなぎ続ける、その先のネットワークへ

運用者の減少と進む属人化をAI活用で進化させる、運用のあり方

**DX加速でネットワーク需要が拡大する一方、深刻なIT人材不足が予測されています。OKIは国産ベンダーとして次世代ネットワークへの移行を支援し、AI活用で運用の省人化・脱属人化を推進。全国保守網を活かし、運用・保守の新たな価値を提供します。**

## 展示ストーリー

自社製NW機器を中心に、国産ベンダとして責任ある製品提供を継続し、国内NWインフラの安定化に貢献。さらに人手不足が進む中、AIによる文章検索、LLMなどを活用して運用を効率化・自動化し、省人かつ高度な運用を実現。OKIグループの保守網を活用し、製品提供から保守・運用まで一体で支えるサービスを展開します。

## 訴求ポイント

POINT 01

### 国産ベンダとして通信・社会インフラを支える信頼性と継続性

自社開発のネットワーク機器を中核に、設計・製造から保守まで一貫して提供。長年にわたり金融・通信・公共分野などミッションクリティカルなインフラを支えてきた実績を背景に、国内ネットワーク基盤の安定運用と事業継続を支援します。

POINT 02

### AIと全国保守網を融合した次世代ネットワーク運用サービス

AIによるナレッジ検索やLLM活用により、監視・保守・運用業務の効率化・自動化を推進。さらにOKIグループが持つ全国規模の保守体制と組み合わせることで、製品提供から運用・保守までワンストップで支え、省人化と運用品質向上を同時に実現。

## OKIだからこそ実現できる理由

- **通信を祖業として「つなぐ」ことを140年以上担ってきたOKIだからこそ、次世代ネットワークを支えられる。**
  OKIは日本初の通信機器メーカーとして、電話機や交換機など日本の通信インフラの発展を支えてきた歴史を持つ。
  通信のプロフェッショナルとして培った技術・知見を活かし、自社製ネットワーク機器を通じて、社会インフラを支える高信頼なネットワーク基盤を提供できる。
- さらに、OKIの強みは機器を作るだけではなく、全国保守網とミッションクリティカルなネットワーク運用の知見を持つこと。AI・LLMを活用した運用自動化と、長年培った保守・運用品質を組み合わせることで、省人化と高信頼性を両立し、製品提供から保守・運用まで一体で支援する。

## 出展品

次世代アクセスネットワークの取り組み

運用システム＋AI活用の取り組み